

4-02 志願者・受験者・合格者・入学者数の推移

【現状説明】 アドミッション・ポリシーに基づき、質の高い学生の確保を目標とした入試を実施しています。

大学	2021 年度入試の総志願者数は、前年比 10.5%減少し、特に一般選抜の減少幅が大きい結果となりました。 栄養科学科は、前年比 18.7%減少し、経年でも減少傾向にあります。全国的にも生活科学系の人気低迷と、昨年度、競争倍率が上がったことからの敬遠による隔年現象が影響したものと考えられます。このような状況の中でも、全国トップクラスの管理栄養士国家試験合格者数と就職実績により、毎年、本学科を第一志望とする受験者が多いことが特徴です。 フード・マネジメント学科は、前年比 3.5%減少し、学校推薦型選抜以外の全入試種別で志願者が減少しました。特に一般選抜 A 方式の志願動向を見ると、栄養科学科との併願が 45%を占めており、人気低迷の生活科学系の煽りと、学部内で人気が二分していることも志願の減少に影響しています。その中、男子の入学者数は毎年 20 名前後と安定して推移しています。2021 年 3 月には一期生が卒業し、就職を通して出口がより明確になり、次年度入試に向け、ホームページやリーフレット等で広く告知しています。 教育学部は、前年比 6.7%減少し、特に学校推薦型選抜・一般選抜で大幅に減少しました。近隣の同系統大学でも同様に減少していることを見ると、教員の労働環境等に対するマスコミ報道を受け、受験者の教育系統からの分野離れも考えられます。学校における働き方改革の推進状況により、今後の分野人気の回復に繋がることが期待されます。 流通科学部は、前年比 11.4%減少し、特に学校推薦型選抜公募制・一般選抜で大幅に減少しています。一般選抜では、グローバル人材育成選抜を新規で実施しましたが、志願者は 7 名に留まりました。本選抜を経て入学し、入学後の成績条件を満たした方に対し、海外協定校への派遣留学を支援するものですが、コロナ禍が大きく影響し、海外留学に対して積極的な志願には結び付きませんでした。今後のコロナ終息後を見据えて、留学支援プログラムを整備しています。
----	--

短期大学部	2021 年度入試の総志願者数は、前年比 16.7%減少しました。特に、食物栄養学科および幼児保育学科においては、過去 10 年で最も少なかった年に並ぶ志願者数となりました。例年、一般選抜において、大学との併願者が志願の大半を占めているため、大学の志願者数減少が大きく影響しました。 食物栄養学科では、前年比 34.2%減少しました。大学栄養科学科との併願者数が約 50%減少したことや、昨年の高倍率による敬遠なども大きな要因となっています。 幼児保育学科は、前年比 13.6%減少しました。学校推薦型選抜公募制は他短大の指定校への流出や四大志向により過去最低の志願者数となっています。一般選抜は大学教育学部の志願者減少による学内併願者の減少、短大進学者の地元志向などが大きな要因となりました。 短期大学部全体で志願者が減少した中、キャリア開発学科においては、総合型選抜や学校推薦型選抜公募制Ⅱ期を新規に実施したこともあり、前年比 2.0%増加しました。 本学の短期大学部の志願者は、一般選抜において大学との併願受験者が多く、短大でありながら大学受験層と同等の学力レベルの受験者が多いことが特徴です。大学・短期大学部間の第二志望制度においても 23.6%が利用しています。 また、短期大学部全体で編入学支援を強化しており、毎年 40 名近くが編入学をしています。その多くが中村学園大学への編入学で、大学との併設により入学後の進路選択の幅が広がっています。 例年の安定した就職率も加わり、高校現場のみならず、社会からも栄養士や保育士、幼稚園教諭などの免許や資格に強い学校としても一定の評価を受けていることから、毎年、入学定員を満たす学生を受け入れることができます。
-------	--

4-02 志願者・受験者・合格者・入学者数の推移

【現状説明】 アドミッション・ポリシーに基づき、質の高い学生の確保を目標とした入試を実施しています。

大学院	大学院の総志願者数は、過去5年間で最も減少しました。 3研究科の中で唯一、博士後期課程がある栄養科学研究科では、3名の入学定員に対し、2～3名の志願で推移していますが、2021年度においては志願がありませんでした。 教育学研究科においては、社会人特別入学選考において毎年一定数の志願がありますが、令和元（2019）年度から開設した教育学研究科修士課程（社会人1年制）においては開設以降、志願者が出ていない状況です。 流通科学研究科では、入学者のほとんどが中国人であり、日本人学生の確保も課題となっています。 進学促進および内部進学者の維持・向上に向けた取り組みとして、中村学園大学卒業生を対象にした給付型の奨学金制度を設け、経済的な負担軽減を図っています。 また、各研究科の入試説明会開催について、学内外への告知強化に加え、ホームページに大学院案内を掲載するなど、教育・研究内容を広く公開しており、今後の志願者および入学者の安定的な確保に努めています。
-----	--